

## 【新潟市長賞】

### 「日本の未来と税」

#### 新潟市立関屋中学校

三年 榊原 蒼生

新型コロナウイルスの流行。この出来事に世界中が翻弄され、生活や経済も大きな影響を受けた。実際に私も感染し、その大変さを痛感した。身体的なつらさだけでなく、外出が不可能な状態でどう生活すればいいか不安もあった。そんな中、国から水分や食料、検査キットなどが無料で届いた。しかも一人に一セット送られてきたため、我が家ではその面で困ることなく乗り越えることができた。

しかし、このような状況に陥っていたのはもちろん私たちだけではない。何千人・何万人もの人に食料を届けるには相当費用がかかるはずである。そこで使われているのが私たちが普段支払っている消費税などの税金だ。

税金にはいくつ種類があるが、そのほとんどが国に入り、国民の生活の一部に使われている。例えば、学校ではたくさんの中で税金が使われている。小学校や公立の中学校では校舎から教科書まで全て税金でできているといっても過言ではない。また、公立の高校と私立の学校では入学に必要な費用の差が大きく、公立高校も税金に支えられている。病院や消防署などの公共機関も税が動かししているものの一つである。税金が無くなれば病院に一回かかるのも高額になったり、火事が起きても料金を支払わないと消火活動をしてくれなかったりするかもしれない。

しかし、税金を減らしてほしいという声があがっているのも事実だ。近年日本では消費税率が8%から10%になり、負担に感じている国民も少なからずいるだろう。もっと税金が少ない国ももちろんある。

そこで、世界の消費税率を調べてみたところ、一番多い国で27%、少ない国は無い国を除くと5%だった。日本の消費税率はそこまで高いわけではないが、重税国ランキングでは2位に入っており、全体では高いということが判明した。

しかし、税金が高い＝良くないというイメージを抱くのは違うと私は考える。当然苦勞して払った税金の使われ方に国民全員が納得するとは限らず、それによって税金に対する不満も出てくる。しかしその税金の使われ方によって助けられたり救われたりする人もいる。実際に私も命を救われたようなものであるし、普段生活している中では気付かないような「当たり前」なことも実は税金があるからこそ成り立っている。さらに福祉の面でも税金は様々な役割を担っていたりと、税金は今の日本の社会にとって必要不可欠な存在なのである。

日本は今、少子高齢化や環境問題、経済不況などたくさん課題を抱えている。そんな社会に寄り添い、よりよい未来を築いていくための手段として、税への理解を深めることは貴重な一歩を踏み出すということなのである。